

臨床検査の保険適用について(平成25年6月収載予定)

		測定項目	参考点数
①	E3 (新項目)	抗トリコスポロン・アサヒ 抗体	DO14-25 抗アセチルコリンレセプター抗体 900点

## 臨床検査の保険適用について

区分 E3(新項目)

測定項目	測定方法	主な測定目的	点数
抗トリコスポロン・アサヒ抗体	ELISA 法	血清中の抗トリコスポロン・アサヒ抗体の検出(夏型過敏性肺炎の診断の補助)	900点

(参考)

- ・ 保険適用希望業者 株式会社シノテスト
- ・ 商品名 トリコ・アサヒ Ab チェック
- ・ 参考点数 D014-25 抗アセチルコリンレセプター抗体 900点

# 保険適用希望のあった新規の検査項目の概要

【区 分】 E3(新項目)

【測定項目】 抗トリコスポロン・アサヒ抗体

【測定方法】 ELISA法

【測定内容】 血清中の抗トリコスポロン・アサヒ抗体の検出(夏型過敏性肺炎の診断の補助)

【主な対象】 夏型過敏性肺炎が疑われる患者

【有用性】 我が国の過敏性肺炎のうち約75%を占める夏型過敏性肺炎の診断には、これまでは、主として帰宅誘発試験が用いられてきており、臨床像からだけでは他の原因による過敏性肺炎との鑑別も困難であった。

原因真菌として分離頻度、抗原陽性率が高いトリコスポロン・アサヒ(*Trichosporon asahii*)の特異的抗体を検出する本検査により、誘発試験による患者への負担軽減と、夏型過敏性肺炎に対する適切な治療が可能となる。

## 【診断基準】

過敏性肺炎診断の手引と診断基準(田村班, 1990)

### 【手引き】

I. 臨床像(臨床症状・所見1)~4)のうちいずれか2つ以上と、検査所見1)~6)のうち1)を含む2つ以上の両者を同時に満足するもの)

1. 臨床症状・所見
  - 1) せき 2) 息切れ 3) 発熱 4) 捻髪音ないし小水泡性ラ音
2. 検査所見
  - 1) 胸部X線像にてびまん性散在性粒状陰影(注: 病初期には異常陰影を認めないことがある)
  - 2) 拘束性換気機能障害
  - 3) PO<sub>2</sub>の低下
  - 4) 血沈値促進, 好中球増多, CRP陽性のいずれか1つ
  - 5) 気管支肺胞洗浄液のリンパ球の増加
  - 6) ツ反応の陰性化

II. 発症環境(1~5のいずれか1つを満足するもの)

1. 夏型過敏性肺炎は夏期(4~10月)に、高温多湿の住宅で起こる。
2. 鳥飼病は鳥の飼育や羽毛と関連して起こる。
3. 農夫病はカビた枯れ草の取り扱いと関連して起こる。
4. 空調病, 加湿器肺はこれらの機器の使用と関連して起こる。
5. 有機塵埃抗原に暴露される環境での生活歴。

注: 症状は抗原暴露4~8時間して起こることが多く、環境から離れると自然に軽快する。

III. 免疫学的所見(1), 2)のうち1つ以上を満足するもの)

- 1) 抗原に対する特異抗体陽性
- 2) 特異抗体によるリンパ球幼若反応陽性

IV. 吸入誘発試験(1), 2)のうち1つ以上を満足するもの)

- 1) 特異抗体吸入による臨床像の再現
- 2) 環境暴露による臨床像の再現

V. 病理学的所見(1)~3)のうちいずれか2以上を満足するもの)

- 1) 肉芽腫形成
- 2) 胞隔炎
- 3) マッソン体

### 【診断基準】

確 実 : I, II, IVまたはI, II, III, Vを満たすもの

強い疑い : Iを含む3項目を満たすもの

疑 い : Iを含む2項目を満たすもの

## 【感度・特異度】

○以下の症例で、本検査を実施。

夏型過敏性肺炎(本症)147例

対象疾患及び健診(非本症)196例

↓

特異度:91.3%(179例/196例)

感度:85.0%(125例/147例)

診断効率:88.6%(304例/343例)

いずれも良好な成績が得られ、本キットが本症を鑑別する際有効であることが示された。

出典:臨床試験時のデータ